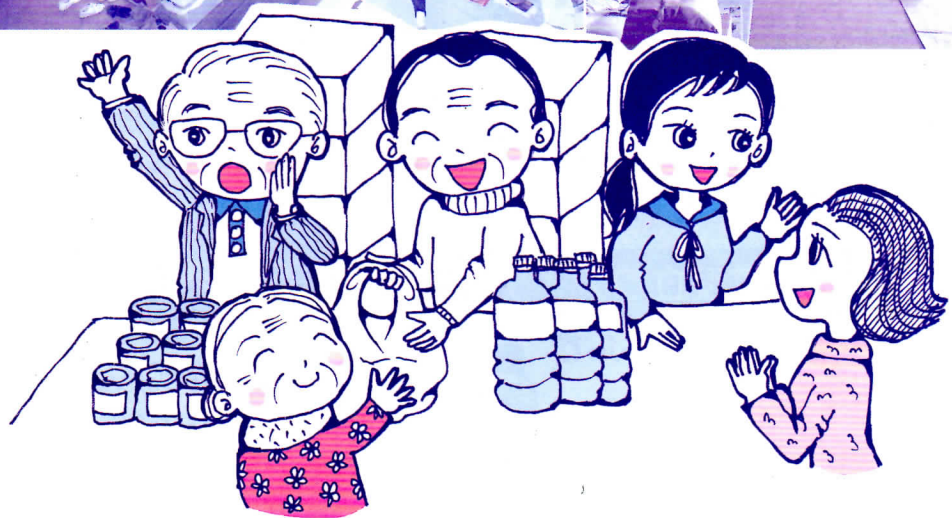


いーぶん

素敵なパートナーになるために



写真提供：神戸市

いつ起こっても不思議ではない東海地方を震源とした大規模地震。ニュースや情報番組で、その規模や影響に関することが取り上げられることも多くなりました。あなたのご家庭では、地震に対する備えは万全ですか？

今回の「いーぶん」では、阪神・淡路大震災と東日本大震災で実際に被災者が感じたことを、特に女性の視点から取り上げています。

避難所での生活に備えて、みんなが少しでも快適に過ごせる方法を考えてみましょう。

特集

避難所で活かそう

女性の視点！

想像してみてください！避難所生活が長引いたとき

9月1日は
防災の日

避難所で活かそう女性の視点!!

～想像してみてください! 避難所生活が長引いたとき～

ご存知ですか? 避難所は、避難所を利用する人の自主運営を原則としています。下のイラストは、大規模な地震が発生した時に、実際に避難所で女性が感じた困りごとを参考にした理想的な避難所運営の姿です。避難所で多くの人が少しでも快適に過ごせるよう、避難所運営に女性の視点を活かしましょう!

1 性別や年齢に関係なく、可能な限り役割を分担し、より多くの方が避難所の運営に参画できるよう工夫をしましょう。

炊き出しの時

あれ? 小さなお子さん
いなかったっけ?

今日は夫が子どもと
家を見に行ってる
から大丈夫なんです。



高校生で
お手伝いなんて、
えらいね、きみ!

生理用品や下着も
欲しいし...
アトピーの子どもに
保湿クリームも...

物資を配布する時

2列にならんで
くださいー。
押さないで!



よかったわー、
受付に女性がいて!
いろいろ
相談できました!

避難所運営のリーダーには、女性を入れるなど、
多様な立場の人々の意見が反映されるように
しましょう。

避難生活で役立つアイデア

～いざから意識しておきましょう～

レジ袋・ペットボトルで



懐中電灯やスマートフォンの
先にレジ袋をかぶせたり、
ペットボトルを乗せると、
光を拡散して
部屋全体を照らせる
ようになります。

生理用品で



止血用のガーゼとして
使用することができます。

ガールスカウトの
皆さんに教えて
もらいました!

今の若者は知らない!? 公衆電話の使い方

○アナログ公衆電話の場合



硬貨を入れると
初めて「ツー」と
受話器から音が
聞こえます

※硬貨は10円と100円が使えます。
おつりは出ませんのでご注意ください!



- ①受話器をとる ②硬貨を入れる ③ダイヤルする ④会話する ⑤受話器を置く

※東日本大震災では、携帯電話やスマートフォンよりアナログ公衆電話がよくつながりました。
※デジタル公衆電話の場合は、硬貨を入れる前に発信音が聞こえます。

2 避難所生活が長引くと、誰もが大きなストレスを抱えます。



お願いだから
泣き止んで～!

授乳スペースが
向こうに出来たよ!

スマホの光も気になるよね～
(特に夜はまぶしい)

これで少しは
ストレスフリー

洗濯できないかも
しれないから、
リュックに
パンティライナー(※)
入れておいてよかった!

※下着用薄型シート

防犯上、トイレは
ひとりで行かない
ようにしようね!

避難所には、多くの方が集まり、時間が経過するにつれて、誰もがストレスを感じるようになります。授乳室や更衣室のスペースを設けるなど、負担を減らす工夫をしましょう。

避難所運営に女性も積極的に関わらしましょう!

高齢者、障害者、アレルギー疾患のある人、妊産婦、乳幼児、喫煙者...様々な人が避難所には集まります

防災に関するさまざまな情報を発信しています

一宮防災ハンドブック (平成28年3月発行)

地震や風水害等災害全般に関する知識や、避難場所・避難所などの情報を一冊にまとめた冊子です。市役所本庁舎4階危機管理課、尾西庁舎窓口課、木曽川庁舎総務窓口課、各出張所でもお渡ししています。



出前講座

防災ハンドブックの活用方法や地震への備えについて講座を開催しています。ご希望の方は危機管理課(電話0586-28-8959)までお問い合わせください。

一宮市防災情報公式ツイッター

防災に対する備えについての情報を随時提供しています。また、災害発生時には、市内の災害等に関する緊急情報を発信するほか、市民の皆さまから「#一宮市災害」とハッシュタグを付けたツイートをしていただくことにより、市内の被災状況などの情報を収集します。

<アカウント名>@138_bousai 一宮市防災情報 <URL>https://twitter.com/138_bousai



災害情報アプリ

スマートフォンをお持ちの方は、地震や水害などの災害発生に備えて、無料防災アプリをダウンロードし、活用しましょう。

平成30年度 第1回男女共同参画セミナー

「パパといっしょにクッキング！
～巻きずしとかき玉汁を作ろう！～」開催報告

市では、5月13日(日)「母の日」に、家事・育児にチャレンジする男性を応援するため、小学生の子を持つ父親を対象にした料理教室を開催しました。講師には、NPO法人ファザーリング・ジャパン理事の横井寿史さんをお迎えしました。

当日は、尾西生涯学習センター5階の料理実習室で、11組の親子が料理に挑戦しました。米の研ぎ方や包丁の安全な使い方など、先生の説明に熱心に耳を傾け、親子で協力して、おいしい太巻きとかき玉汁を作ることができました。



参加者の声 (終了後アンケートから)

- ・妻が応募したため、受け身で参加しましたが、娘と料理することの楽しさを知りました。料理に限らず、娘と一緒に参加できるイベントにこれからは参加してみようと思います。(30代父親)
- ・親子で料理できる機会を増やしていけたらいいと思います。今回の経験を含め、家庭に還元できるようにしたいと思います。(40代父親)

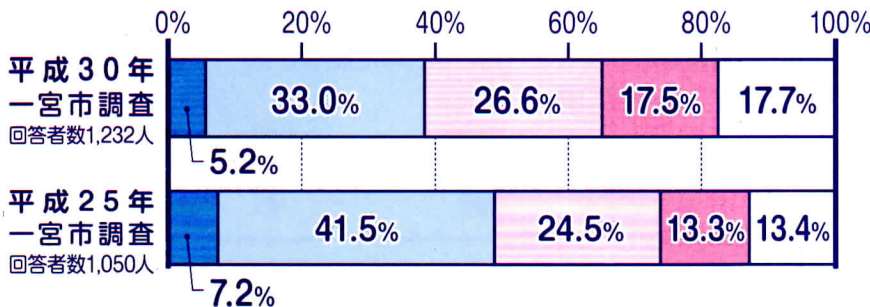
男女共同参画に関する市民アンケートを実施しました!

市では、来年度に第3次一宮市男女共同参画計画を策定するため、無作為に選出した3,000名を対象に市民アンケートを実施しました。今回は、アンケート結果の一部をご紹介します。

Q 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

A 平成25年に実施した調査と比較すると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、「賛成(※1)」の割合は38.2%と10.5ポイント減少し、また、「反対(※2)」の割合は44.1%と6.3ポイント増加しており、この5年間で市民の皆さんの意識に変化がうかがえます。

※1「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計
 ※2「反対」と「どちらかといえば反対」の合計



「男だから」「女だから」と「性別」によって職業や活躍の場が制限されることは、一人ひとりの個性や能力を発揮する機会を奪うことにもつながります。「自分らしさ」を大切に、性別に関係なく、望む生き方を選択できる、そんな社会を築いていきましょう。

〈凡例〉 ■ 賛成 □ どちらかといえば賛成 □ どちらかといえば反対 ■ 反対 □ わからない・無回答

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入するため、合計が100%にならないことがあります。

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。
 『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。
 編集協力者/岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美
 編集・発行/一宮市総合政策部政策課
 〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128
 Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/
 *政策課のウェブサイトでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。
 *『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。

『いーぶん』は再生紙を使用しています。